

平成 30 年 10 月 5 日

議会議長 石 川 正 洋 様

総務建設委員会  
委員長 長 澤 務

### 閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第 77 条の規定により、次のとおり報告いたします。

#### 記

- 1 開催日時 平成 30 年 7 月 11 日（水）午前 9 時 00 分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席
- 3 調査事項

##### (1) 町税の収納状況について

町民税個人の平成 29 年度現年度分調定額は 1,927,156,591 円で、前年度対比で 31,204,899 円の増となった。現年分の収入済額は 1,886,968,384 円で、前年度対比で 29,823,821 円の増となった。調定額、収入済額ともに増加し、国内の景気回復の影響で、所得が向上したと思われる。

固定資産税の平成 29 年度現年度分調定額は 2,392,164,500 円で、前年度対比で 6,452,500 円の増となった。これは、太陽光発電設備を取得した 1 事業者が新規に課税されたことが主な原因である。現年度分の収入済額は 2,350,622,254 円で、前年度対比で 7,882,027 円の増となった。

現年分の収納率と前年度対比は、町民税は 97.9%で 0.1 ポイントの減、固定資産税は 98.3%で 0.1 ポイントの増、国民健康保険税は 90.9%で 0.2 ポイントの増、軽自動車税は 96.8%で 0.4 ポイントの増と 3 税目で増加となった。

町では、平成 29 年度から町民税、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険税についてコンビニエンスストア収納を開始し、対象件数 77,956 通のうち 19,839 通の 25.45% が利用した。また、督促状発送数は 20,398 通で、前年度対比で 1,912 通減り、徴収事務の軽減が図られたほか納期内の納税が増え、納付利便性を高める効果が認められた。

今後も適正で公平な賦課・徴収事務に努めるとともに、コンビニエンスストア収納について、納税者の利便性を向上させ納付率の増加につなげるため、当初課税だけでなく過年度分でも取扱いができるよう範囲を拡大することを検討されたい。

##### (2) 町道の占用料の徴収について

道路の占用については、道路法 32 条で道路に工作物等を設置するとき又はそれを継続し

て使用するとき、道路管理者の許可を得なければならず、電柱、電線、水道管、下水道管、ガス管等が道路占用の対象となる。

町内の道路占用物件は約 3,000 件あり、道路工事の承認申請や占用申請については、事務手続きはされていたものの占用料を徴収する条例については制定されておらず、町では近隣市町と同様に占用料を徴収し、道路補修等の新たな財源にしたいと考えている。

公共性の高い水道管、下水道管、公益法人等の占用物件、個人の占用物件については、占用料を減免とすることや徴収金額及び時期については、今後検討していくこととなるが本年度中に条例を制定し、次年度より徴収事務を行う予定で年間 620 万円程度の歳入が見込めることとなる。

占用料徴収については、新たな財源の確保にもつながることから条例制定に向けた手続きを進めるとともに、占用物件の現地等を調査・確認し、徴収対象者や事業者等へ丁寧な説明をするなど、慎重に進められたい。

### (3) 道の駅の維持管理・運営状況について

道の駅利用者数は、平成 29 年 5 月のオープンから平成 30 年 3 月までの 11 か月で 1,214,555 人となり、5 月には 15 万人を超え、夏、秋、河津桜のシーズンごとに利用者が増えている。

使用料収入では、定期借地権設定契約によるコンビニエンスストア部分土地代として、年間 597,600 円、定期建物賃貸借契約による 3 つの飲食施設と物販の年間賃料として合計 20,352,570 円の賃貸料収入があった。

その他の使用料では、自販機使用料 463,104 円、広告看板使用料年間 120,000 円の収入があった。

町の道の駅への平成 29 年度支出額は 124,827,331 円で、内訳は施設整備サービス対価分 66,649,390 円、維持管理・運営サービス対価分 58,177,941 円であった。

施設整備サービス対価は施設整備に係る償還金であり、維持管理・運営サービス対価は、施設の維持管理運営の委託料である。使用料として 21,533,274 円の収入があったため、差引 36,644,677 円が一般会計の負担額となった。

道の駅の利用者数は、年間目標の 69 万人を大きく上回り、隣接地には民間企業も進出するなど雇用や賑わいを創出する効果があったが、利用者アンケートでは施設に関する意見、要望等も寄せられている。

今後も利用者ニーズの把握に努めるとともに観光客や町民にも愛され、川の駅との相乗効果を図りながら地域活性化・交流拠点につながる施設となるよう期待したい。

### (4) 町道 1-6 号線の進捗状況について（現地視察含む）

町道 1-6 号線について、現地視察を行った。町道 1-6 号線は、国庫補助事業（社会資本整備総合交付金）で整備を進めており計画道路幅員は 16.0m。全体計画の施工延長は、750m である。平成 30 年度の施工延長は 34.0m で、今後も計画的な延伸に努められたい。